

総合計画審査特別委員会
産業建設分科会記録

令和7年11月28日

【開催日】 令和7年11月28日（金）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時30分～午後2時6分

【出席委員】

分科会長	恒松恵子	副分科会長	中島好人
委員	穂本真一	委員	武野裕司
委員	中村博行	委員	福田勝政
委員	矢田松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

副議長	大井淳一朗		
-----	-------	--	--

【執行部出席者】

建設部長	井上岳宏	建設部次長兼下水道課長	中村景二
土木課長	大和毅司	土木課課長補佐兼河川港湾係長	金田健
土木課道路整備係長	中村友哉		

【事務局出席者】

局長	石田隆	議事係書記	末岡直樹
----	-----	-------	------

【審査内容】

- 1 議案第87号 第二次山陽小野田市総合計画に係る後期基本計画の策定について

午後1時30分 開会

恒松恵子分科会長 皆様お疲れさまです。ただいまより総合計画審査特別委員会産業建設分科会を開会いたします。本日の審査事項は、議案第87号第二次山陽小野田市総合計画に係る後期基本計画の策定についてです。先日の分科会で、目標指標などの修正事項を確認いたしました。38ページの基本事業2、交通安全環境の整備の評価指標、通学路の安全対策

の協議回数について質疑が1件あり、審査の持ち越しがございました。そこで、協議回数に代わる評価指標について、執行部からの説明を求めます。

大和土木課長 それでは、基本施策10の基本事業2、交通安全環境の整備に示しております評価指標について再度の検討を求められましたので、内部で検討した結果を説明させていただきます。土木課からは二つの案を提案させていただきます。まず、案1につきましては、通学路の危険箇所の改善率を指標として挙げるものです。説明として、改善箇所数割る危険箇所数掛ける100として、危険箇所の改善箇所を割合で示しています。現状値は令和6年度末の実績値として67%となっております。令和11年度の目標値につきましては、中期基本計画の計画期間である令和4年度から令和7年度までの平均値から求めた数値で74%としています。続いて、案2ですが、こちらは、通学路の危険箇所の改善箇所数を指標として挙げるものです。説明としては、危険箇所の対策完了箇所数を累計で示すものとしており、現状値では、令和6年度末の実績値として128か所、令和11年度の目標値につきましては、これも令和4年度から令和7年度までの平均値から求めた数値で200か所としています。土木課としましては、案1を推奨したいと考えております。理由としましては、案2の改善箇所数だと、当然毎年対策を行いますので、数字は増えていきますが、どれだけの危険箇所があるかが分からないため、どれくらいの規模で完了しているかが分かりません。案1であれば改善した割合で示すため、どれくらいの規模で完了しているかがイメージしやすいと考えております。どちらの指標におかれましても、現在の指標として挙げています通学路の安全対策の協議回数から差し替えるものとして提案させていただきます。説明は以上です。御審査のほどよろしく申し上げます。

恒松恵子分科会長 ただいま執行部から説明がございました。危険箇所の改善率いわゆる割合か、累計箇所数を評価指標とするかということでござい

ます。それでは委員からの質疑を求めます。

穂本真一委員 私は案1のほうがいいのではないかと考えます。その理由としては、どのくらい進んでるのかというのが一目瞭然で指数が分かるという利点もあるんじゃないかなと思います。案2のほうは、数の大小は分かるんですけど、それがどれくらい早く進んでるかとか、どのくらい達しているかとかが分かりにくいんじゃないかと思いますので、案1のほうがいいのではないかと考えます。

大和土木課長 穂本委員のおっしゃるように、案2について、危険箇所数というのは、毎年度、一定して増えるわけじゃなくて、多かったり少なかったりすることもあります。危険箇所はそういうふうが増えていくんですけど、対策につきましても、予算の関係があったり、あと、事業も継続事業とかありますので、対策する数も一定じゃないってところもあります。そういう理由もあり、案1のほうが土木課としてもいいのではないかとということで推奨しております。

矢田松夫委員 もともとは協議回数、話し合いをする回数が2回ですよ。そうじゃなくて例えばここが協議ではなくて、点検回数、いわゆる調査点検した結果、案1の改善率がありましたとつながるのが一番いいんじゃないかね。ということは、それらの協議回数よりは点検回数を入れたほうがいいんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。

大和土木課長 点検につきましては、協議において点検する場所を決めており、年に一度だけ点検をしている状況です。その点検も、六つの中学校区に分かれて、それぞれ、1回点検をして、その点検に対してどういう対策をしていくか方法を決めまして、最終的にその対策が完了したところは2回目の協議で発表することになっております。

恒松恵子分科会長 先日の分科会でも毎年危険箇所が増加していくので目標値

として設定できないという答弁を頂いております。そのほかありますか。

中島好人副分科会長 二つほど説明がありましたけども、要するに危険な箇所とそれに対する改善のパーセントですよね。2番目に示されたのが箇所ですよね。ですから、箇所はいろいろなちょっとしたことでも増えていくという内容でしたけども、ある意味ではもう、両方あるといいなと思ったわけです。どちらか二者選択をしなきゃいけないものなのか。二つ、箇所と実施率とか、そういうものをやると全体が分かりやすいんではないかと思ったんですけども、その辺、どうなんでしょうか。

大和土木課長 案1の改善率の説明において、改善の箇所数と危険箇所数の両方の数字を出して割合を求めます。当然その数字は、出てくるものですから、きちんと説明するときにはその数字を示して、改善率が出てきます。なので、あえて対策完了の改善箇所数を表に出さなくてもいいのではないかなと考えております。

中村博行委員 お尋ねしますが、改善率の現状値と目標値は分母が当然変わってきますよね。そういう理解でいいですか。

大和土木課長 はい。おっしゃるように危険箇所数も改善箇所数も、毎年変わるものでありますので、パーセンテージも変わってきます。

中村博行委員 それから完了箇所数ですけども、客観的に見ると非常に分かりやすいような気はするんですけど、ややもすると、予算もあるんでしょうが、目標値に近づけようとして、大した危険の度合いが低いところでも、箇所数を増やすためにはそういうところを多くやってしまえば、目標に近づけるということがあってはいけません。そういうことはないと思うんですけど、そういう考え方も成り立つかと思います。そういう意味でいうと、箇所数にあまりこだわり過ぎると、本来の危険箇所の改善につながらないのかなというような気がします。そういう意味では、

小規模土木とか何でもそうですけども、結局前年度の残りがあつたり、そして当年度にまた増えた、減ったで、そういった中の状況がいろいろ変わると思うので、客観的な見方のほうで言うなれば、改善率で示したほうがいいのではないかと思いますけども、その辺りの認識で間違っていないでしょうか。

大和土木課長 中村委員のおっしゃるとおり、この数字にこだわってその目標値に近づけるためにという進捗はしておりません。優先順位を各年度で示しまして、それに基づいて整備をしていきます。当然、整備する場所によっては費用のかかるものと費用のかからないものがあります。それもまた予算の状況によって変わってはきますけど、今も、継続事業でずっとやってるところもあります。当然、ラインとか、あとカーブミラーとかにつきましては、緊急的にもできるもので優先順位は高いですので、その辺が安価ではできるんですけど、優先順位というのは持っていながら進めていこうと考えております。

恒松恵子分科会長 そのほか、よろしいですか。やはり改善率のほうが指標にふさわしいということで、皆さん同じ考えでよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは暫時休憩といたします。

午後 1 時 4 4 分 休憩

午後 2 時 4 分 再開

恒松恵子分科会長 それでは休憩を解きまして、産業建設分科会を再開いたします。議案第 87 号の修正案について確認します。修正の 1 点目、38 ページの評価指標が通学路の安全対策の協議回数から通学路の危険箇所の改善率に変更を要請したいと思っております。次に 60 ページ、目標指標につきまして、「公園施設が充実している」と回答した市民の割合が、修正前 51.3 点から 51.4 点の修正でございます。続きまして、64

ページでございます。下水道の施設改築更新率につきまして、「更新率」よりは、下水道施設改築箇所数のほうが、評価指標としてふさわしいのではないかということで、「箇所」に変更しております。続きまして、70ページ、目標指標の用途地域内人口の割合が、目標値、現状値ともに数字の訂正を原課から求められましたので、認めたいと思います。続きまして、71ページの評価指標でございます。同じく、原課から同じ数字に変更の要請がありましたので、皆さんに確認します。最後に74ページの目標指標につきまして、市内の高校・大学からの市内就職率につきまして、修正前が12.6%の現状値が修正後9.2%、これも原課からの修正の確認要請でございます。以上6点につきまして、総合計画産業建設分科会から提出したいと思います。皆様、よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは異議なしとのことですので、こちらで提出します。以上をもちまして、総合計画産業建設分科会を終了いたします。お疲れさまでございました。

午後2時6分 散会

令和7年（2025年）11月28日

総合計画審査特別委員会産業建設分科会長 恒松恵子